

熊本県立装飾古墳館

「古墳」として知られる、古代の埋葬塚が今もなお日本中で無数に残っている。しかしながら、「装飾古墳」は約 700 基にすぎず、そのうちの 200 基は熊本県にある。山鹿には、古墳時代（300–538）に支配階級のために建てられた埋葬塚に因んで名付けられた、この時代におけるこの固有の文化遺産に特化した総合博物館（古墳館）がある。

博物館（古墳館）の設計と構造

熊本県立装飾古墳館は、世界的に有名な建築家である安藤忠雄により設計された、巨大な 2 階建て博物館である。1 階の常設展示室では、熊本の遺跡やこれらの装飾墓の内部で見つかった出土品が紹介されている。また、回転式特集陳列を行う展示スペースがある。熊本県立装飾古墳館の一番の見どころである、これらの装飾墓の復元は、地階に設置されている。

歴史を近くで見る

チブサン古墳の玄室と同じく、いくつかの玄室は来訪者に公開されているが、一般公開されていないものもある。熊本県立装飾古墳館は、熊本県にある 12 基の埋葬塚の中で見つかった石室を苦労して精密に復元したものを所蔵している。これらのレプリカの内室のいくつかについては、リモートカメラを用いて間近で見ることができる。

英語と日本語による説明文により、玄室の内部で見つかった、描かれたまたは刻まれた模様についての背景情報が分かる。例えば、多くの墓は、儀式上の目的のためであったであろう円形または鏡の様なデザインを特徴としている。いくつかの墓には、古墳時代の盾や剣に見られるものと同じような、直線や曲線の断片化した模様がある。このような模様は、悪霊を避けることを意味していたと考えられている。また、イマジネーションホールと呼ばれる映写室があり、ここでは、古墳時代や日本の歴史におけるその他の時代についての教育映画を上映している。

古代の風景の探訪

熊本県立装飾古墳館は、山鹿の市街地の南西、車で約 10 分のところにある。13 の埋葬塚群（古墳群）である岩原古墳、横山古墳など、関連する多くの観光名所が徒歩圏内にある。営業時間中であれば、熊本県立装飾古墳館で横山地区の見学ツアーを申し込むことができる。

この近くにはもう 1 か所、肥後古代の森という魅力的な場所がある。この絵画のように美しい公園には、アジサイが咲き乱れた遊歩道や、2 千年以上前の種から繁殖した蓮のある池がある。ここを訪れた人々は、熊本の装飾古墳の古代の神秘に浸った後に、公園内をのんびりと散策することができる。